

## この本の特徴

このテキストは、中学受験をめざす小学4年生のみなさんのための冬期講習用教材として、読解力を身につけ、国語を学ぶために必要な知識を得るためにつくられたものです。4年生の冬休みまでに学習した内容を基本から応用まで、わかりやすくまとめてあります。

## この本の使い方

- ・例題…各単元で学習する内容を実感的に身につける問題です。「学習の要点」「考え方」を確認し、何を学習するのかわかりきりつかみながら解いてみましょう。
- ・学習の要点…各単元で学習する最も大切なことごとをまとめてあります。
- ・考え方…「例題」の解き方のポイントが書いてあります。
- ・基本問題…「例題」で学習したことからをたしかめるための問題です。
- ・練習問題…「基本問題」より一歩進んだ問題です。じっくり時間をかけて解きましょう。
- ・知識問題…受験に必要な、おもに言葉に関する知識をまとめています。まとめをよく読み、問題を通して確実におぼえるようにしましょう。

## もくじ

小4・国語

1	説明文 段落と段落のつながり	2
	名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞	10
2	説明文 要旨と要旨の比較	12
	慣用句・ことわざ	20
3	物語文 場面・気持ち・人物像	22
	敬語	30
4	随筆文 筆者の気持ちと考え	32
	同訓異字・同音異字・同音異義語／ 類義語・対義語	40
	総合問題1	42
	総合問題2	46
	漢字トレーニング	50

## 例題

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20

15

10

5

## 学習の要点

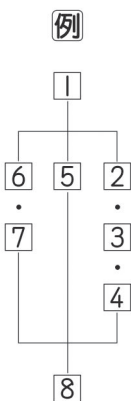
### ● 形式段落と意味段落

- (1) 形式段落……一字下げて書き始められ、改行によって区切れる文章のひとつ。
  - (2) 意味段落……話題や内容が共通する形式段落をいくつか合わせた大きなまとまり。

### ● 形式段落を意味段落にまとめる

- (1) 形式段落の要点をつかむ。
  - (2) いくつかの形式段落で「重要語句（キーワード）」を見つける。
  - (3) 問いかけの文をふくむ形式段落に注意する。
  - (4) 形式段落のはじめの接続語（「しかし」「ところで」など）や指示語（「こうして」「このように」など）の働きから前後のつながりを考える。
  - (5) 以上のことから、それぞれの形式段落の内容が共通しているかどうかを考え、意味段落にまとめる。
- ※要点……段落の中の特に重要な内容。

### ● 文章の組み立てをとらえる



1 説明文 段落と段落のつながり

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(中村庸夫「クジラはなぜ歌う」より)

問一 この文章を内容の上で三つに分けると、二つ目のまとまりは何段落から何段落までになりますか。段落番号で答えなさい。

～  段落

問二 問一で分けた二つ目のまとまりをさらに二つに分けると、その後半はどこからになりますか。段落番号で答えなさい。

段落

問三 問一の段落と問二の段落の関係として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 問一の段落と問二の段落は逆接の関係である。
- イ 問一の段落と問二の段落は選択の関係である。
- ウ 問二の段落は問一の段落の具体例をあげている。
- エ 問二の段落は問一の段落の理由を説明している。

問四 この文章の題名として最もふさわしい言葉を、文章中から五字前後で書きぬいて答えなさい。

※ 右の文章の組み立てを意味段落でとらえると、大きく三つに分かれる。

- ① 段落…①……………話題の提示
- ② 段落…②③④⑤⑥⑦……………話題に関する説明
- ③ 段落…⑧……………まとめ

※ 筆者の最も言いたいことがふくまれる「まとめ」の意味段落は、文章のはじめにある場合もある。

**考え方**

問一 この文章は、「話題を示す段落」と「話題に関する説明の段落」に分けることができます。さらに「話題に関する説明の段落」は、「ハクジラ」の説明と「ヒゲクジラ」の説明の二つに分かれます。

問二 段落の話題の対象が「ハクジラ」から「シャチ」に変わっていることに注目します。

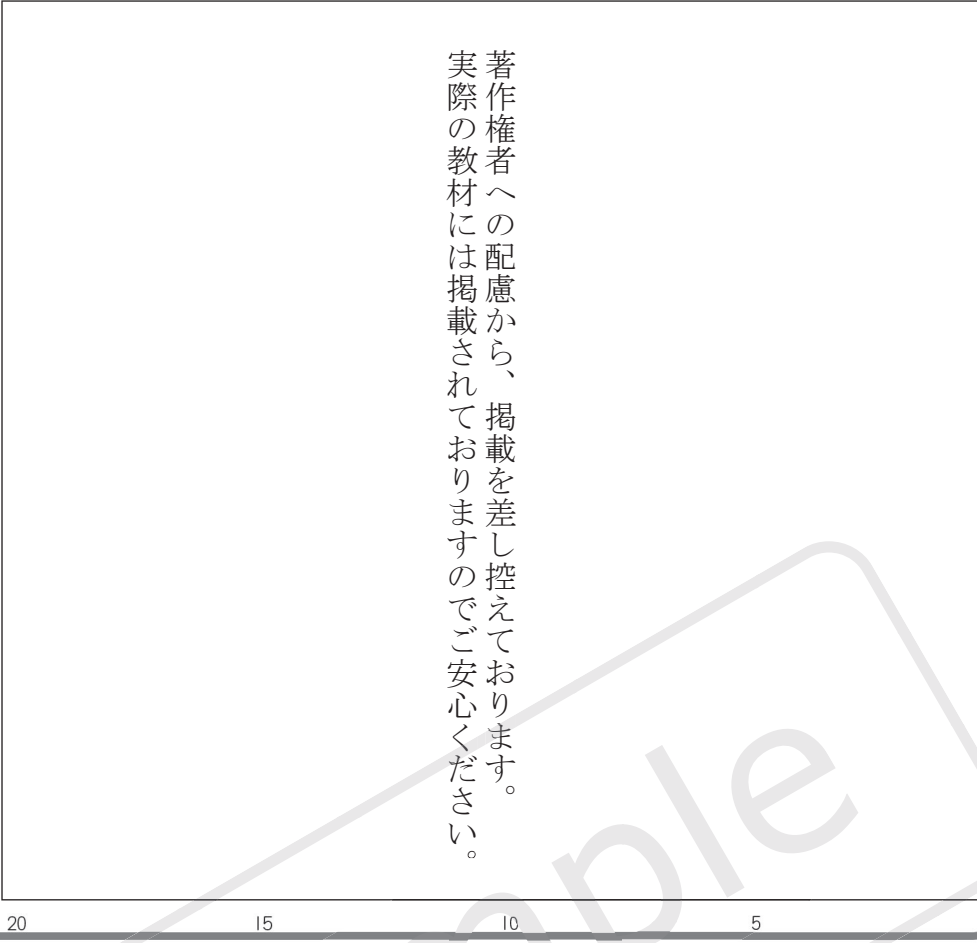
問三 問二の段落が問一の段落の「しくみ」を説明していることから、最もふさわしいものを選びます。

問四 文章の題名は、文章の話題を表すので、中心的な役割をはたす意味段落である「話題を示す段落」や「まとめの段落」から読み取ることができます。

この文章には「まとめの段落」がないので、「話題を示す段落」(ここでは①・②段落)の中に、題名にふさわしい言葉があるはずで

1 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



(注) 餌食…えさ 宇和島市のネズミの大発生…一九四九年にネズミが  
 大発生した。 集落…家が集まった所。

(今泉忠明「猫はふしぎ」より)

問一 ①段落では、何について説明していますか。次の文の [A]・

[B] にあてはまる言葉を、Aは三字、Bは四字で文章中から書きぬいて答えなさい。

今から [A] 以上前に、もともと森林に棲んでいたヤマネコが、人間の生活圏にやってきたものが、[B] の起源だということ。

A

B

問二 \* ②にあてはまる接続語を次から選び、記号で答えなさい。

- ア そして
- イ あるいは
- ウ しかし
- エ つまり

問三 ③線「友好関係を結ぶまでに時間はかかりませんでした」と

ありますが、なぜですか。次の文の [A]・[B] にあてはまる言葉を、Aは三字、Bは四字で文章中から書きぬいて答えなさい。

ネコは、穀物は食べないし、集落の周辺にいて、[A] を捕ってくれる「[B] 動物」だということが、すぐに分かったから。

A

B

問四 ④この文章を内容の上で三つに分けると、二つ目と三つ目のまともりはどこから始まりますか。段落番号で答えなさい。

二つ目  段落

三つ目  段落

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(稲垣栄洋「身近な虫たちの華麗な生きかた」より)

20 15 10 5

問一 ①段落に説明されている内容をまとめた次の文のA・Bにあてはまる言葉を、文章中からAは三字、Bは四字で書きぬいて答えなさい。

日本の春のAであるモンシロチョウは、実はBである。

A

B

問二 線①「スジグロシロチョウ」にあてはまることばを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 害虫である。
- イ 雑草を食べる。
- ウ 日当たりを好む。
- エ 一度は絶滅した。
- オ 古くから日本にいた。

問三 \*にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア あるいは
- イ そのため
- ウ なぜなら
- エ そのうえ

問四 線②「農地」とほぼ同じ意味の三字の言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。

問五 この文章を大きく三つの意味段落に分けた場合の分け方としてよいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア ① ② ③
- イ ① ② ③ ④ ⑤
- ウ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
- エ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) アイ、ペンデーサ、クロエ：筆者が研究のために飼育しているチンパンジーの名前。  
 (松沢哲郎「チンパンジーはちんぱんじん」より)

問一 線①「額や耳たぶに赤い染料でしるしをつけた」とありますが、「額や耳たぶ」は何の具体例にあたりますか。文章中から十五字で書きぬいて答えなさい。


20 15 10 5 35 30 25

1 説明文 段落と段落のつながり

問二 線②「井上徳子さんの研究」からわかったことを次のように二つに分けてまとめました。A・Bにあてはまる言葉を、Aは二十字以内で、Bは四十文字以内で答えなさい。ただし、A・Bのどちらにも「鏡」という語を使うこと。

- ・毎日鏡を見つづけているチンパンジーは、一歳半になればAということ。
- ・一度も鏡を見たことがないチンパンジーでも、三歳半になつてみると、Bということ。

B				A			

問三 線③「アイは、頭のとっぺんにできたかさぶたを鏡を見ながらはがそうとしたり、口を開けて歯の根元についたかすを取ろうとしたりした。」の一文の役割として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 直前の文の内容についての結論を明らかにしている。
- イ 直前の文の内容についての具体例を述べている。
- ウ 直前の文の内容を異なる具体例で言いかえている。
- エ 直前の文の内容と対立する具体例をあげている。

問四 文章中に出てきた動物を、次の表のように分類しました。1と2両方の条件にあてはまる動物を後から一つ選び、記号で答えなさい。

		霊長類である	鏡に映る自分を認識できない
イヌ			
ヒト			
ネコ			
イルカ			
ニホンザル			
チンパンジー			

問五 この文章を内容の上で三つに分けると、二つ目のまとまりは何段落から何段落までになりますか。段落番号で答えなさい。

段落

問六 問五で分けた二つ目のまとまりの中心となる一文を文章中からさがし、はじめと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

はじめ


終わり


次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

10

15

20

25

30

35



1 説明文 段落と段落のつながり

(注)

東日本大震災…二〇一一年に起きた地震による災害。

(竹内薫「怖くて眠れなくなる科学」より)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

60                      55                      50                      45                      40

立方メートル…一辺の長さが一メートルの立方体の体積。

都市国家…都立が一つの国になっていること。

食料自給率…国内の食べ物全体のうち、国内で作っている量の割合。

パーセント…一〇〇分のいくつであるかを示したもの。

概念…物事について、人々が共通に持っている意味内容。

干ばつ…雨が長い間降らないこと。日照り。

依存…ものや人にたよりきること。

国際貢献…世界の役に立つこと。

問一

文章中の A・B にあてはまる数字を、表から読みとって漢数字で答えなさい。

A		B
---	--	---

問二

世界的に水不足になったとき、日本人が「飢える」ことのないようにするためには、どのようにしたらよいと思いますか。文章の内容をふまえたうえで、あなたの考えを書きなさい。

●名詞

- (1) ものやことごらの名前を表したり、指し示したりする単語。  
 (2) それだけで文節を作れる単語（自立語）で、言葉の形は変わらない。

- (3) 主語になることのできる単語（体言）。

〈名詞の種類〉

- ① 普通名詞：一般的なものやことごらの名前。  
 例 テレビ  
 ② 固有名詞：それだけにつけられた名前。  
 例 福沢諭吉  
 ③ 数詞：数や順序などを表すもの。  
 例 百番  
 ④ 形式名詞：形式的に用いられるもの。  
 例 思うこと  
 ⑤ 代名詞：物事の代わりを示すもの。  
 例 それ

●動詞

- (1) 動作や作用、存在を表す単語。  
 (2) それだけで文節を作れる単語（自立語）で、使い方によって言葉の形が変わる（活用がある）。

- (3) それだけで述語になることのできる単語（用言）。  
 (4) 言い切りの語尾（最後）がウ段の音になる。用言の、形が変わらない部分を「語幹」、形が変わる部分を「活用語尾」という。

例 動く（「動」が語幹・「く」が活用語尾）：動か—ナイ・動き—マス・動く。（言い切り）・動け—バ

●形容詞

- (1) 物事の性質・状態を表す単語。  
 (2) それだけで文節を作れる単語（自立語）で、使い方によって言葉の形が変わる（活用がある）。  
 (3) それだけで述語になることのできる単語（用言）。

- (4) 言い切りの語尾（最後）が「い」になる。  
 例 美しい（「美し」が語幹・「い」が活用語尾）：美しかろ—ウ・美しかつ—タ・美しく—ナル・美しい。（言い切り）・美しい—トキ・美しけれ—バ

●形容動詞

- (1) 物事の性質・状態を表す単語。  
 (2) それだけで文節を作れる単語（自立語）で、使い方によって言葉の形が変わる（活用がある）。

- (3) それだけで述語になることのできる単語（用言）。  
 (4) 言い切りの語尾（最後）が「だ」になる。

例 静かだ（「静か」が語幹・「だ」が活用語尾）：静かだろ—ウ・静かだつ—タ・静かだ—アル・静かに—ナル・静かだ。（言い切り）・静かな—トキ・静かなら—バ

●副詞

- (1) 物事の程度や様子などを、くわしく説明する単語。  
 (2) それだけで文節を作れる単語（自立語）で、活用がない。

〈副詞の種類〉

① 動作や様子などをくわしく表す副詞——（状態の副詞）  
 例 姉はケーキをあつさり<sup>じょうたい</sup>と弟にゆずった。

※ 「擬声語」 || 音や声などをまねて表した言葉。

例 せんべいをバリバリと音をたてて食べる。

※ 「擬態語」 || ものの様子や動作を表した言葉。

例 歩きつかれたので、ぐったりと横になる。

② 物事の程度を表す副詞——（程度の副詞）

例 この一年間で、ずいぶんせがのびた。

③ きまった言い方ともなう副詞——（呼応の副詞）

例 まるで夢を見ているようだ。

問一 次の(1)～(6)の名詞の種類を後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 三等 (2) 気持ち (3) こちら  
 (4) 一人 (5) イギリス (6) テキスト

ア 普通名詞    イ 固有名詞  
 ウ 数詞        エ 代名詞

(1)  (2)  (3)  (4)  (5)  (6)

問二 次の(1)～(4)の各文の——線の動詞を「言い切り」の形に直してひらがなで答えなさい。

- (1) 姉と同じ中学校を受<sup>け</sup>たい。  
 (2) かれが来<sup>な</sup>いと出<sup>発</sup>できない。  
 (3) 友達とコンサ<sup>ー</sup>トを<sup>楽</sup>しんだ。  
 (4) 君が話<sup>せ</sup>ば、母もわ<sup>か</sup>つてくれるだろう。

(1)  (2)   
 (3)  (4)

問三 次の文の①～④の言葉が名詞ならばA、動詞ならばBと答えなさい。

- そんな <sup>①</sup>ふざけた <sup>②</sup>調べ方では、見つかる <sup>③</sup>ものも <sup>④</sup>見つからないよ。

①  ②  ③  ④

問四 次の(1)～(4)の各文の——線の単語を「言い切り」の形に直して答えなさい。

問五 次の文から副詞を二つぬき出して答えなさい。

- (1) 外がうるさくて本も読めない。  
 (2) 今日はおだやかな一日だった。  
 (3) 部屋の中がきれいになった。  
 (4) あの映画はとてもおもしろかった。

(1)  (2)   
 (3)  (4)

昨夜の雪が <sup>ずいぶん</sup> 積もって、一面 <sup>真っ白</sup> だった。

問六 次の文の□には、あるきまった言い方(——線部の言葉)をとまなう副詞(呼応の副詞)が入ります。それぞれ後から選び、記号で答えなさい。ただし、同じものは二度選べません。

- (1) □ 一度、いらしてください。  
 (2) □ かれがまちがえることはあるまいと思ったのに。  
 (3) □ 箱を開けてはいけません。  
 (4) □ 願いがかなうなら、鳥のように空を飛んでみたい。  
 (5) □ 物語の主人公が □ 自分の分身のように思えてならない。  
 (6) □ 、今日、雨はふらないだろう。

ア まるで    イ けっして    ウ ぜび  
 エ もし      オ まさか    カ たぶん

(1)  (2)  (3)  (4)  (5)  (6)